



広陵戦を想定し打撃練習に励む八学光星ナイン—24日午後、兵庫県西宮市

# 光星 スイングに磨き

## あす広陵(広島)戦

選抜高校野球大会(センバツ)に出場している本県の八学光星ナインは、26日、広陵(広島)との

初戦を迎える。24日は兵庫県西宮市の津門中央公園野球場で、最速148km/hの右腕河野ら相手投手陣を想定した打撃練習に時間を割いた。大会屈指の投手陣を擁する広陵の攻略へ向け、最終調整に余念がなかった。

練習前に広陵の具大会映像を見たナインは守備練習を早々に切り上げ、相手投手をイメージした打ち込み練習に汗を流した。ベンチ外のチームメートの投手たちをいつもより数倍ほどバッターボックス寄りに立たせ、速球に力負けしないスイングに磨きかけた。主砲の近藤は「左投手は主にインコースを付けてくる。いつも通りできれば負ける相手ではない」と自信をみなぎらせた。

練習後、仲井監督はナインに「試合は、生きるか死ぬかだ。自分で自分に火をつける」と活を入れた。(高松拓輝)   
▽訂正 24日付朝刊17面で「光星甲子園だより」で、原外野手の名前は「瑞都」でした。